

(様式第 1 号)

平成 30 年 5 月 2 日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 様

領 域 名 : 心理・社会的支援の領域
科 目 名 : 地域生活の継続と家族支援
単 位 数 : 2
認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人
日本介護福祉士養成施設協会
群馬県介護福祉士養成校協議会 一般社団法人 群馬県介護福祉士会
団体事務所 : 〒371-0823 〒371-8525
の所在地 群馬県前橋市川曲町 191-1 群馬県前橋市新前橋町 13-12
電話 : 025-253-0294 027-255-6226
FAX : 027-254-0294 027-255-6173
E-mail : shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 鈴木 利定 ㊞

団体代表者 : 小池 昭雅 ㊞

申請責任者 : 白井 幸久

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 30 年 5 月 2 日
申請団体名	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 群馬県介護福祉士養成校協議会 一般社団法人 群馬県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	鈴木 利定 小池 昭雅
申請責任者職名 申請責任者氏名	群馬医療福祉大学 短期大学部 教授 白井 幸久
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 群馬県介護福祉士養成校協議会 〒371-0823 群馬県前橋市川曲町 191-1 Tel : (025)-(253)-(0294) Fax : (027)-(254)-(0294) E-mail <u>shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp</u> 一般社団法人 群馬県介護福祉士会 〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町 13-12 Tel : (027)-(255)-(6226) Fax : (027)-(255)-(6173)
申請対象の領域	領域名 : 心理・社会的支援の領域
科目名 (単位数)	科目名 : 地域生活の継続と家族支援 (2 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 () 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援に関する領域	
科目名	地域生活の継続と家族支援	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	利用者本人が培ってきた社会関係、社会的役割の維持、社会参加の支援や、家族への支援が行えるとともに、介護サービスだけではない地域のインフォーマルな資源も活用して、地域生活の継続が支援することができる力を育成する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が培ってきた社会関係や社会的役割を踏まえて、介護サービスを利用することが必要になってもそれらとの関係を断ち切らずにできるだけ維持できる支援の計画を考案することができる。 ・インフォーマルな担い手による互助の活動について、担い手、活動内容、連携の方策や留意点について説明できる。 ・家族介護者の負担や困難について、典型例をあげるとともに、家族介護者への支援や連携の方策について説明できる。 ・複合的な困難を抱える家族について、典型例をあげるとともに、支援や関係機関等との連携の方策について説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>○社会関係、ソーシャルサポート、社会的役割、社会参加の重要性と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な繋がり、人間関係、ソーシャルサポートの維持、再形成の支援 ・介護サービスによって、社会関係等を断ち切ってしまう危険性とその回避 ・社会的役割の維持、社会参加の支援 <p>○地域のインフォーマルな担い手による互助活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意義と機能 ・主な担い手、活動・サービスの内容 ・連携の方策や留意点 <p>○家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の負担と支援 	<p>①社会関係、ソーシャルサポート、社会的役割、社会参加の重要性と支援について理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)社会的な繋がり、人間関係、ソーシャルサポートの維持、再形成の支援 2)介護サービスによって、社会関係等を断ち切ってしまう危険性とその回避 3) 社会的役割の維持、社会参加の支援 <p>②地域のインフォーマルな担い手による互助活動について理解する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 意義と機能について 2)主な担い手、活動・サービスの内容について 3)連携の方策や留意点について <p>③家族支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)家族介護者の負担と支援 2)複合的な困難を抱える家族への支援 <p>④次のことをあらかじめ課題学習（事前課題）とする。 【レポート課題1】</p>

	<p>・複合的な困難を抱える家族への支援</p>	<p>「ある利用者の生活歴を聞きとりその人がどのような社会関係・社会的役割を培ってきたか、介護サービスを利用する状態となることでそれらがどのように変わってきたか」についてまとめなさい。(字数制限なし、表紙付)</p> <p>【レポート課題2】</p> <p>・「自職場の周辺にはどのような地域資源(フォーマルサービス、インフォーマルな互助活動等サービス、高齢者や障害者が生活で利用する施設等)があるか。インフォーマルな互助活動や資源が高齢者や障害者の地域生活にとってどのような役割をはたしているか」についてまとめなさい。(字数制限なし、表紙付)</p> <p>⑤事例に基づいて演習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との関係、地域での役割を断ち切らない支援の方法 ・地域の社会資源の把握と活用 ・家族介護者への支援 ・複合的な困難を抱える家族への支援 <p>⑥全体を振り返り、まとめを行う。</p> <p>➡【事後レポート】「授業を踏まえ、地域生活の継続と家族支援について考えたことを述べなさい」(字数指定なし、表紙付)</p>
<p>研修方法</p>	<p>■通学課程 ■課題学習</p> <hr/> <p>○集合研修は講義と演習を組み合わせる。 ○課題学習は事前・事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
<p>研修時間</p>	<p>30時間(対面授業 15時間 + 課題学習 15時間)</p>	
<p>修了要件</p>	<p>1. 当該科目の対面授業の全課程に出席していること。 (出欠席・遅刻・早退の取り扱いは別紙4のとおり)</p> <p>2. 事前・事後レポート、計画書等の提出の指示がある科目の場合、提出期限内に提出し合格していること。</p> <p>3. 当該科目が示す修了評価において、C評価以上であること。</p> <p>*修了評価について 筆記試験及びレポート試験の評価は別紙5の評価基準を用いて実施する。</p>	
<p>講師要件(講師の選定基準)</p>	<p>*当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 *補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師などの教育経験がある者</p>	
<p>(2)受講者について</p>		

<p>受講対象 (受講要件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「認定介護福祉士概論」を修了していること。 ・「心理的支援の知識・技術」を修了していること。 (1) 次のア～ウを満たしていること。 <ul style="list-style-type: none"> ア 介護福祉士取得後の実務経験 5 年以上(実務経験の考え方は介護福祉士国家試験の受験資格に準ずる) イ 介護職員を対象とした現任研修の受講歴として、100 時間以上の履歴を有していること。 ウ 研修実施団体の課スレポート課題又は受講試験において一定水準の成績を修めていること。但し機構の定める研修を修了している場合は免除する。 (2) 次のエ又はオを満たす事が望ましいこと。 <ul style="list-style-type: none"> エ 介護職の小チーム(ユニット等、5～10 名の介護職によるサービス提供チーム)のリーダー、サービス提供責任者等)としての実務経験を有すること。 オ 居宅、居住(施設)系サービス双方での生活支援の経験があること。
<p>修了評価 (習得度、研修成果)</p>	<p>事前レポートと事後レポートを併せて 100 点満点で評価する。割合は「事前レポート 1」30%、「事前レポート 2」30%、「事後レポート」40%とし、100 点満点中 60 点以上で合格(修了)とする。</p>
<p>(3) 研修の環境条件</p>	
<p>定員 (講師の配置基準)</p>	<p>30 名(講師 1 名) 演習時も同一の講師が行う。 講師 1 名。補助講師(ファシリテーター)の配置については、当該講師の授業運営に応じ、適切に配置する。 * 尚、その際には当該講師が意図したことを理解し、適切な介入ができる能力を有する者であり、受講生 8～10 名に対し 1 名を置くものとする。</p>
<p>開催場所 (都道府県)</p>	<p>群馬県</p>

コマシラバス（地域生活の継続と家族支援）（対面授業 15 回分）

回数	科目名（回ごとの項目）	時間(分)	内容
1	オリエンテーション	90	各回の授業概要、評価方法、課題の取り組み方を知る。
2	①社会関係、ソーシャルサポート、社会的役割、社会参加の重要性と支援について理解する 1	90	社会的な繋がり、人間関係、ソーシャルサポートの維持、再形成の支援について
3	①社会関係、ソーシャルサポート、社会的役割、社会参加の重要性と支援について理解する 2	90	介護サービスによって、社会関係等を断ち切ってしまう危険性とその回避について
4	①社会関係、ソーシャルサポート、社会的役割、社会参加の重要性と支援について理解する 3	90	社会的役割の維持、社会参加の支援について
5	②地域のインフォーマルな担い手による互助活動について理解する 1	90	意義と機能について
6	②地域のインフォーマルな担い手による互助活動について理解する 2	90	主な担い手、活動・サービスの内容について
7	②地域のインフォーマルな担い手による互助活動について理解する 3	90	連携の方策や留意点について
8	③家族支援について理解する 1	90	家族介護者の負担と支援について
9	③家族支援について理解する 2	90	複合的な困難を抱える家族への支援について
10	事例検討①	90	地域との関係、地域での役割を断ち切らない支援の方法
11	事例検討②	90	地域の社会資源の把握と活用
12	事例検討③	90	家族介護者への支援
13	事例検討④	90	複合的な困難を抱える家族への支援 1
14	事例検討⑤	90	複合的な困難を抱える家族への支援 2
15	まとめ	90	全体を振り返り、まとめを行う。

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証更新

認証更新申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1)研修の実施予定	
実施日	① 平成30年 9月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 群馬医療福祉大学 前橋キャンパス
	②
	③
(2)講師	
担当、氏名及び略歴	柳澤 充 群馬医療福祉大学短期大学部 教授
	略歴 東洋大学大学院修士課程 社会福祉学研究科福祉社会システム専攻科卒 社会学修士 ソーシャルワーカーとして、障害者支援のNPO や在宅介護支援センター、ホームレス支援などを経て、2010年4月より群馬医療福祉大学短期大学部専任教員。 現在に至る
	資格など 社会福祉士
	著書 1 「無年金障害者実態調査報告書」 (2007) 東京無年金障害者をなくす会 編集・発行 執筆責任者 2 「新版 障害者福祉論」 (2008 学文社) 10章2 知的障害者事例 3 「無年金障害者の歴史」 (2010) 東京精神保健福祉士協会編集・発行 4 「ソーシャルワーク実践へのいざないⅡ -実践を深める相談演習-」 (2012 日本医療企画) 第Ⅱ部 第2章 5 「介護福祉士予想問題」 (2015 東京コア) 6 「介護福祉士国家試験解説」 (2017 東京コア) 他
社会活動 1 成年後見人受任 (2009～現在) 2 東京・無年金障害者をなくす会 事務局長 (2009～現在) 3 群馬県前橋市障害認定審査会委員 4 群馬県老人福祉施設協会中堅職員研修会 講師 5 群馬県重度訪問介護員研修会 講師	
(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成委員会 (13名) 群馬県健康福祉部 介護高齢課 1名 (オブザーバー) 群馬県介護福祉士養成施設協会 1名 群馬県介護福祉士会 1名

	群馬県老人福祉施設協議会 1名 群馬県老人保健施設協会 1名 群馬県地域密着型サービス 連絡協議会 1名 群馬医療福祉大学 2名 短期大学部(事務局) 2名 運営担当 群馬医療福祉大学 短期大学部 3名 ・研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当 講師と科目間の連関や留意点について共有する。 ・研修委員会のメンバーは研修の補助を行いつつ、研修内容の整合 や新たに含むべき内容があるかなど、研修見直しの一助も担う
研修の企画運営に関する 諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	群馬医療福祉大学 短期大学部 教授
研修管理責任者氏名	白井 幸久
機構問合先部署	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
機構問合先担当者氏名	矢嶋 栄司
機構問合先電話番号/FAX	電話 027-253-0294 / FAX 027-253-0294
機構問合先 e-mail アドレス	shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp
受講問合先部署	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
受講問合先担当者氏名	矢嶋 栄司
受講問合先電話番号/FAX	電話 027-253-0294 / FAX 027-254-0294
受講問合先 e-mail アドレス	shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
受講履歴の管理方法	*紙媒体及びデータによる台帳管理する。 *外付けディスクにバックアップデータを保管する。 *データの保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 *個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、認定介護福祉士養成委員会により修了証書を発行する。
管理責任者氏名	白井 幸久
管理担当者氏名	矢嶋 栄司